



治安維持法同盟埼玉県本部第56回総会が、8月25日(水)午後2時から、浦和コメンで開催されました。

開会挨拶を松下裕副会長が行い、総会の意義と目的を述べた後、この1年間で逝去された会員を偲び全員で黙祷。

議長に大野辰男副会長が選出され、矢島恒夫会長が挨拶。矢島会長は、第1に、菅内閣に対する国民の批判が集中していることを、国政補選、都議選、そして横浜市長選挙結果の特徴にも触れて説明、10月21日の衆院議員の任期満了が近づいており、9月以降、いつ解散・総選挙になってもおかしくない。今回の総選挙は、国民から見放された菅自公政権のコロナ対策などの無為無策の政権を変える絶好のチャンスだと強調。第2に、先月の理事会総会での議論にも触れながら、支部づくり、支部

活動の重要性も強調されました。第3に、その為に会員拡大、署名活動、映画製作・上映運動の重点課題の促進で総選挙の勝利と一体に同盟の役割、任務を明らかにしました。

その後、急遽、参加できなくなった増本一彦中央本部会長からの挨拶要旨が小池莊市副会長から代読されました。また、11団体からメッセージが寄せられ、場内に掲示されました。

その後、2020年度活動報告と2021年度方針提案を岩田治樹事務局長、2020年度決算報告と2021年度予算案の提案を小池副会長、監査報告を斎藤健監査委員から報告されました。休憩後、これらの挨拶、報告に対する質疑・討論となり、支部活動などの経験が討論されました。

討論は、13名から挙手があり、予定時間を超えての熱心な討論が展開。矢島会長から討論のまとめが行われ、次の5点の特徴が紹介されました。

①報告・発言の仕方についての改善要望が出され、今後会議運営についてわかりやすくする努力をしたい、②若い人たちへのSNSを駆使した働きかけや「今さら治安維持法って聞けない」の声に応えた活動の工夫、③映画「我が青春つぎさくとも」製作・上映の成功をめざす積極的な発言、④支部づくりへの意欲などについては5人が発言、⑤野党連合政権作りや同盟がまだ知られていない問題を改善するなど積極的な意見があり、議案への提案など、新執行部で、さらに討論し、県同盟の今後の方針に生かすよう努力したいとまとめられました。

討論のまとめを受け、報告された議案に対する採決が行われ全員の拍手で承認されました。

その後2021年度県本部役員の方針が提案が行われ、執行部からの提案が全体の拍手で承認され、矢島会長から、新役員の紹介と決意が述べられました。

最後に、加藤ヨリ子会長代行から開会挨拶が述べられ、来る総選挙での立憲野党と市民の共闘の勝利で、同盟が掲げる要求の実現をめざし、同盟を強く大きく前進させていくことがよびかけられ、閉会となりました。



「不屈」No567付録
埼玉版 (No395)

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
埼玉県本部
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂
2-3-10 黒澤ビル3F
電話:048-824-0094
振替 00110-7-83245

〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
- ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

埼玉県における「伊藤千代子映画」製作・上映運動
進む、埼玉県内30カ所5千人運動を提起
製作資金は8口(80万円)に到達、もう一回り広げよう!

「協賛募金」を広げよう

埼玉県においても、映画「わが青春つぎさくとも」の製作・上映運動実行委員会も出来て、「県内30カ所5千人運動」が提起されました。また、1口1千円の「協賛募金」も提起され、「製作協力券」も作成し、上映運動を見据えた活動がはじまっています。

これまでの埼玉の制作資金づくりの状況は、3人の方が一口10万円の上映債権に応募。また、協賛募金は、延べ80人の方から50数万円が寄せられ、8月末現在、上映債権8口(80万円)に到達しました。これからは、協力団体への申入れも行い。運動をもう一回り二回りと広げて参ります。当面、10月のクランクインまでには、「募金目標」を達成するためにさらなる「協力お願いします」。(事務局)

「DVD視聴会」を開催

春日部 支部

8月14日春日部市民文化会館で、14名の参加で、「映画伊藤千代子製作宣伝用DVD」(21分)の視聴会を開きました。視聴後の感想会では、いま、この映画を普及する大切さがこもこも語り合われ、その場で協力券18枚と募金4万2千円が集まり、嬉しい事に一名の方が国賠同盟へ加入して下さいました。



深谷市での「撮影」が正式決定!

10月のクランクインに向けて準備が着々と進んでいます。埼玉では3つのシーンの撮影が決り、29日、埼玉県からも13名が参加して、桂壮三郎監督と撮影現場の深谷シネマ、旧深谷商業高校、茂木邸納屋の視察会を行い、その場で3人の青年がエキストラに応募されました。

☆エキストラ大募集中!

希望者は応募ください。

雨の中、終戦記念日「宣伝行動」

8・15終戦記念日街頭宣伝を行いました。宣伝参加者は3人でしたが、雨降る中、元気よくハンドマイクで30分ほど訴えながら、「不戦の誓い新たに」戦争する国』づくりストップを」の見出しのチラシを約40枚配布しました。小学生連れの若い父親が「そのチラシ、読みたいのでください」と声をかけてくれるなど嬉しい出会いもありました。



新加入同盟員紹介

東山寿美子 さいたま市南区
細谷 宜朗 春日部市

国会請願署名推進コーナー

【個人署名】

榎本恵美子 上尾市 5筆
全日本年金者組合

【団体署名】

小倉啓介 東松山市 10筆
埼玉県本部 101筆
全日本年金者組合

埼玉県本部 越谷支部

〃 大利根支部

署名合計

個人署名 565筆
団体署名 3筆

夏期募金ありがとつ、ごさいます

菅原 明、宮武厚美、春原利夫・節子、岩田治樹・眞智、浅子かお、中島正悟、(敬称略、前号からの続きです)

註:紙面の都合で「熱風」は休ませて頂きます。(編集部)

総会で選出された役員

(50音順、○は新)
 会長 矢島 恒夫
 副会長(5名) 加藤ユリ(○会長代行)
 ○岩田 治樹、小池 莊市
 松下 裕、森田 君子
 事務局長、○大野 辰男
 事務局次長 福田 美子
 常任理事(8名)
 ○大澤辰雄、○小久保剛志、
 佐藤 訓子、福家 駿吉、
 二橋 元長、○本山 豊
 吉田 晃、渡辺 喜久雄
 理事(18名)
 浅子 薫衣、卯月 武彦、
 加納 幸子、鯨井 洪
 倉又 孝夫、小室 仁彌、
 権田 圭助、佐藤 修一、
 実川 英博、篠田 健一、
 菅原 明、鈴木 実、
 新島 善弘、○林 登美男、
 本山 修一、丸山 芳枝
 宮地さか枝、望月たけし
 監事(2名)
 斎藤 健、高橋 隆亮
 顧問 高根 賢一

読者のひろば

長澤志保子さんの「戦争体験」が、今年3月から半年間にわたって掲載され、感想文などを募集したところ二人の方から寄稿がありましたので掲載します。(編集部)

姉の「戦争体験」を読んで

春日部市 福家駿吉

長澤志保子さんは私の実の姉です。私が終戦時小学1年生で姉よりは覚えていません。印象に残っている事と言えば、敗戦が迫る頃は空襲が酷くなりました。隣町は焼かれ死者や怪我人が出るなど不安な日々でした。

家の電燈には傘がかかり明かりが外に漏れないようにし、寝る時は枕元に防空頭巾や水筒が置かれていました。寝間着等に替えて寝たかの記憶はありません。

昼間から米軍機の機銃掃射があり、家族揃って押入れに隠れ怖く、米軍機が去るまでジーとしていました。夜、空襲警報が鳴ると起こされ、眠い目をこすりながら母子5人、米軍機の爆音迫る中遠くの共同防空壕に入り、一晩明かしました。

朝になり帰る時は家が焼かれているか大変不安な気持ちでし

「戦争は絶対ダメ」の声を上げ続けよう!

さいたま市 小池莊市

それだけに、戦争の終わった日はホッとし、「もう空襲は来ない」と表に出て、子ども達は喜び合っていました。他国民、自国民を苦しめた侵略戦争は、罪深くあつてはならないものでした。民主主義を守り平和憲法9条の立場でこれからも頑張らねばと思っています。

「戦争をなくすためならどんなことでもしたい」そう思わずつと生きてきたような気がします。・・・と、長澤志保子さんは「手記」を結んだ。

戦後76年、戦後生まれが人口の80%を占め、戦争体験を語る方が年々亡くなる中で、いま「戦争は絶対ダメ」の声を出す大切さを痛切に感じている。

かつて 田中角栄元首相は、

「あの戦争を知っている人間たちが政治家である限り、日本は戦争しないだろう」が、「戦争を知らないやつが出てきて日本の中核になったとき、怖いなあ」と語っていたという。いまの国会議員の殆どが戦後生まれで、戦争体験を語る人は残っていない。まさに、「怖い時代に」なっている。

私は、長澤さんとは4歳違いで、あのような悲惨な体験はないが、戦争の記憶を残す「最後の世代」として、「戦争は絶対ダメ」の声を私なりに上げ続けたい。

私が終戦を疎開地の信州上田で迎えたのは5歳の時だった。炎天下、近所の大人達がうなだれて「玉音放送」を聞き入る周りを、何も知らずにはしゃぎ回っていたことを鮮明に覚えている。私自身の「戦争体験」は、あの片田舎にもB29が襲来して防空壕に逃げ込んだ怖かった記憶もあるが、むしろ、戦後の悲惨な生活、明日の米も買えない「貧乏生活」にあると感じている。東京神田の実家は、東京空襲で焼失、父は失業。東京に戻る事も出来ず大変貧しい少年時代を過ごしたが、その原因が戦争にある事を知り学んだのは、だいぶ経ってからである。私も80路に入り大したことはできないが、「再び戦争と暗黒政治を許さない」同盟運動に力を注ぎたい。

「埼玉平和美術展」開催

8月10日～15日近代美術館
 「核兵器廃絶、平和の壁に花一輪を」と、今年も「平和美術展」が開催され、昨年を上回る108人が310点を出品。平和を願った作品が多く出展されました。



鯨井洪氏「ヒロシマ、ナガサキ」

第25回「原爆と人間展」

8月3日～8日、大宮図書館



広島の高校生が描いた「絵」をみながら語る親子・・・
 今年の原爆展は、高校で「平和について」の宿題が出たこともあって、高校生が大勢来て質問したそうです。

私も一言



「山宣ひとり孤塁を守る・・・」

東京山宣会 会長 永島 民男

昨年一月一四日の日本共産党大会での来賓挨拶で、立憲民主党安住淳国対委員長が冒頭山宣(山本宣治)に触れ、立憲野党の共同の力で安倍内閣打倒を呼びかけた。

一九二七年四月の山東出兵を強行した田中義一内閣に対して左派一七団体は対支非干渉全国同盟を結成したが、その委員長が山本宣治であった。同盟はその後カンパニア闘争を続け、翌一八年「戦争反対同盟」、さらに「国際反帝同盟日本支部」に発展した。安住氏の挨拶は戦前における唯一の統一戦線の顔が山宣だったことを踏まえ、統一戦線たる立憲野党の共闘を訴えたのだ。

東京山宣会とは山宣暗殺の地、光榮館跡地に記念碑建立運動を続けてきた千代田山宣会を引継ぎ、二〇一〇年に結成された。

その後、千代田区と交渉を続け、「千代田区まちの記憶保存プレート」事業として、神保町の区道に区費で山宣死後九〇年にあたる二〇一九年三月にプレートを完成させ、除幕した。深緑のプレートには山宣の写真と共に以下の文字が書かれている。

山本宣治終焉の地 (光榮館跡)

軍国主義の時代、国民弾圧の治安維持法に反対した唯一の代議士。一九二九年(昭和四年)三月五日夜、定宿の光榮館があったこの地で右翼暴漢の凶刃により、三九歳の生涯を閉じる。

東京山宣会はブックレット「我らのやませんと東京の発行、山宣に所縁のある「山宣東京ツアー」の実施などに取り組んでいる。同盟埼玉でも是非「企画」検討を。(えいじまたみお・鴻巣市在住)

同盟文芸



短歌

菅首相の膝元くずしし市長選
 野党共闘の候補者はすこい
 市長選開票待たずに当確なり
 コロナ対策 市民託ししか

俳句

人も蟻も生き物すべて地球の仲間
 つゆ草を美しく知る老いし今
 春日部市 浅子 薫衣

春日部市 浅子 薫衣
 行田市 大野 辰男

川柳

火事場泥大軍拡の予算案
 アフガン海外派兵の下心
 春日部市 福家 駿吉